

SDGs とは、国連で採択された、すべての国や地域が 2030 年までに達成することを
目指して取り組む世界共通の目標のことで、17 の目標があります。



目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

～持続可能な開発のために必要な手段を強化して

パートナーシップを活性化する～

人、モノ、情報などが、国や地域といった枠組みを越えて活発に移動し、世界がグローバル化している中で、社会の問題も多様化・複雑化しており、企業や個人がそれぞれに取り組んでも、解決することはできません。地球規模の問題に、世界全体で取り組んでいくことが重要ですが、2030年までに開発途上国がSDGsの目標を達成するためには、毎年2兆5,000億ドル（約280兆円）の資金が不足するとされています。開発途上国への援助や投資により、産業や経済が発展し、豊かになれば、すべての国の人に利益をもたらす、「誰一人取り残さない」社会の実現につながります。

日本でも、多くの企業が、さまざまな業種の企業や教育・研究機関、NPO法人などの連携を通して、そ

れぞれの得意分野を活かし、社会貢献活動や地域の課題解決、SDGsの目標達成に向けた取組を進めています。

SDGsの目標達成には、国や自治体、企業、団体、地域、市民一人ひとりが多様なパートナーシップをつくり、互いに協力し合って行動することが大切です。まずは、身近なコミュニティや地域の活動に参加し、それぞれの知恵や力を出し合うことで、問題を解決する大きな力となることを実感してみましょう。

私たちにできること

- ・ 2030 年の未来、どんな世界であって欲しいか話し合ってみる
- ・ 地域の活動に参加・協力し、関係づくりをする
- ・ 世代間交流や国際交流などのイベントに参加する
- ・ SDGs に取り組む企業や団体に投資・寄付するなど

SDGs とは、国連で採択された、すべての国や地域が 2030 年までに達成することを
目指して取り組む世界共通の目標のことで、17 の目標があります。



まとめ「持続可能な社会のためにできること」

～すべての目標はつながっている～

これまで紹介してきた「私たちにできること」のなかで、やってみよう、始めてみようと思えた取組はありましたか？

SDGsは、世界のすべての人が幸せに暮らし続けていくための、壮大な目標です。自分には関係がないと思うかもしれませんが、その実現には、世界全体が力を合わせる必要があります。一人ひとりの身近な行動が積み重なり、それぞれが連携し合うことで、その効果はより大きなものになっていきます。大切なのは、世界や日本、地域で起きている問題を知り、「自分のこと」として捉え、今できることは何かを考え、行動することです。

「知っている」と「やっている」は、全く違います！

SDGsの取組は、17個の目標すべてを考え、行動す

る必要はありません。自分の興味や関心がある目標に取り組めば、次から次へと関連する目標がつながっていき、結果的に、多くの目標に取り組んでいくことになります。

2030年、私たちの暮らす社会は、今よりも豊かで安全・安心な社会になっているでしょうか。私たち一人ひとりが、できることを、無理せず続けていくことが、持続可能なより良い社会づくりの第一歩となります。

- ・ 国際連合広報センターが公表している「持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド」（二次元コード）にも、日常生活で誰でも簡単に取り組めるアイデアが紹介されていますので、ぜひ、参考してみてください。

